

謝辞

ご多忙の中、多文化研創立35周年記念誌にご専門の論稿や温かいメッセージをお寄せいただきありがとうございました。

2025年は、戦後80年、世界はどこに向かっているのでしょうか。ロシアによるウクライナ侵攻から3年となり世界平和を祈りつつも、米露の接近、米国と欧州との亀裂など深刻な局面を迎えてます。いま世界で、家を追われ祖国を追われた人の数は、1億2000万人を超えてしました。

トランス（trans）とは、多様な敷居や境界を越え、国境だけでなく、異なる文化、馴染みのない宗教や生活習慣、理解できない言語の壁を越えていくことでもあります。

末尾となってしまいましたが、当初から温かく応援してくださった関係団体や多くの専門家の皆様に感謝の気持ちをお伝えいたします。信頼と友情のお陰で多文化研は、グローバルな関係団体や実践者・研究者とともに世界の動きに注視し、意見交換を重ね、探究しつつ多数の書籍を上梓してまいりました。

今後もウエルビーイング、多文化共創経営、国際法、地政学、国際人口移動、地経学なども相互に学んでまいります。

世界平和を願いつつ、排除されがちな他者を受容し、多文化意識が「生の保障」につながる多文化共創社会の創造に微力を尽くしてまいります。

心からの感謝の気持ちをお伝えします。

ありがとうございました。

Global Awareness & Well-being

川村 千鶴子
多文化社会研究会理事長